

STANDARD

証券コード:9051



Senkon Logistics Report

第66期 中間のご報告

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日



センコン物流株式会社

TSUNAGU LOGISTICS SUPPLIER



国際物流

顧客のニーズに対し、コスト、スピードを重視し、あらゆる輸送モード（陸・海・空）でワンストップサービスを実現。



製造請負

物流のコンシェルジュとなり、クライアントのコア・コンピタンスを実現します。



トランクルーム

保管のプロが預かる「klassy」シリーズ。倉庫の「空間」を活用し、暮らしとビジネスに寄り添います。



タイヤ保管

保管場所に困る、履き替え用のタイヤ。集荷、保管、配送を一括請負いたします。



文書保管

文書保管を外注し、オフィスを効率的に運用！預けた文書はPCで管理できる「klassy biz」。



危険品取扱い

取り締まりが厳しくなる「危険物」の取扱い。専門施設の保管で、+αの価値を提供いたします。



モーダルシフト

環境のためにも、コスト削減のためにも、トラック輸送以外の輸送手段を提供いたします。



物流不動産

東北を知り尽くしたセンコン物流だから実現できるニーズに応じた物流不動産の仲介。



海外商流支援

貿易に関する書類作成からパートナー探しまで、日本のアウトバウンドをサポート。



環境への取り組み

センコン物流では、環境保全に対する様々な取り組みを行っております。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第66期中間のご報告をお届けいたしますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要が増加するなど、緩やかな景気回復基調が続いているものの、エネルギーや原材料価格の高止まり及び円安による物価上昇の常態化に加え、欧米における高い金利水準や中国経済の低迷、緊迫する中東情勢等の地政学的リスクの高まりなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境のなかで当社グループは、引き続き各事業分野において社会環境等の変化や顧客ニーズに対応したソリューション型の営業活動及びCS（顧客満足度）活動を展開するとともに、継続した3PL（企業物流の包括的受託）事業、アウトソーシング事業、フォーワーディング事業、レコードマネジメントサービス事業及びトランクルーム事業の専門化に注力し、各事業分野における新たな領域での戦略を推進しながら、事業の伸長に努めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の営業収益は、運送事業において精密機械等の輸送量及び倉庫事業において食品・米穀等の受注高が増加したことに加え、乗用車販売事業においては半導体等の供給不足がほぼ解消され、自動車メーカー側の生産活動の正常化が進んだことにより、新車及び中古車販売台数が増加し、また、サービス部門（車検・点検修理等）の取扱いも堅調に



CEO(最高経営責任者)
代表取締役会長

久保田 晴夫

推移したことにより、9,261百万円（対前年同中間期比113.3%）となりました。

利益面におきましては、増収効果などにより、営業利益は452百万円（対前年同中間期比150.2%）、経常利益は465百万円（対前年同中間期比149.6%）、親会社株主に帰属する中間純利益は291百万円（対前年同中間期比181.9%）となりました。

中間配当について

2024年10月25日開催の取締役会において、第66期中間配当金を、1株につき7.50円とさせていただきますことに決定いたしました。

今後も、株主の皆様への利益還元を念頭に置きながら、安定的な配当の継続と内部留保の充実に努めてまいります。

決算ハイライト

Consolidated Financial Highlights

中間連結業績ハイライト

営業収益

9,261 百万円

前期比
113.3%

営業利益

452 百万円

前期比
150.2%

経常利益

465 百万円

前期比
149.6%

親会社株主に帰属する中間純利益

291 百万円

前期比
181.9%

中間配当

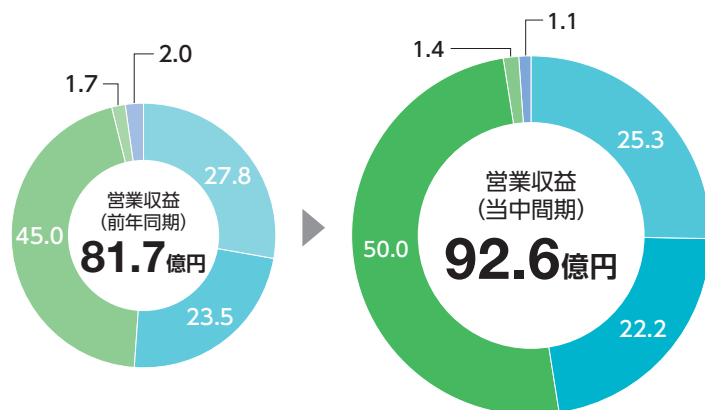
7.5 円

年間合計

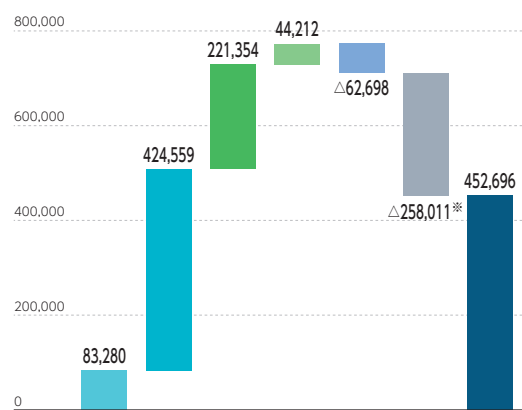
15.0 円 (予想)

■ 営業収益構成比 (%)

■ 運送事業 ■ 倉庫事業 ■ 乗用車販売事業 ■ 再生可能エネルギー事業 ■ その他の事業 ■ 調整額 ■ 合計



■ 営業利益構成比 (千円)



※セグメント利益の調整額△258,011千円は、セグメント間取引消去1,193千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△247,918千円が含まれております。
 ※当中間期より、従来「アグリ事業」として記載していた報告セグメントを「その他の事業」に含めて記載する方法に変更しております。

セグメント別概況

Segment Overview



運送事業

運送事業につきましては、精密機械及び建設関連貨物等の輸送量が増加したことなどにより、営業収益は2,351百万円(対前年同中間期比102.8%)となりました。営業利益は、増収効果と自社トラック輸送の粗利益率が向上したことなどにより、83百万円(対前年同中間期比1,029.3%)となりました。



倉庫事業

倉庫事業につきましては、食品・米穀及び農業機械等の受注高が増加したことなどにより、営業収益は2,062百万円(対前年同中間期比106.8%)となりました。営業利益は、増収効果により、424百万円(対前年同中間期比108.5%)となりました。



乗用車販売事業

乗用車販売事業につきましては、半導体等の供給不足がほぼ解消され、自動車メーカー側の生産活動の正常化が進み、新車及び中古車販売台数が増加したことに加え、サービス部門(車検・点検修理等)の取扱いも堅調に推移したことにより、営業収益は4,653百万円(対前年同中間期比125.8%)となりました。営業利益は、増収効果により、221百万円(対前年同中間期比215.0%)となりました。



再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、新たに小型風力発電設備(4基)が稼働しましたが、太陽光発電において日射量が減少したことにより、営業収益は132百万円(対前年同中間期比97.8%)となりました。営業利益は、減収の影響と落雷による小型風力発電設備の修繕により、44百万円(対前年同中間期比82.0%)となりました。



その他の事業

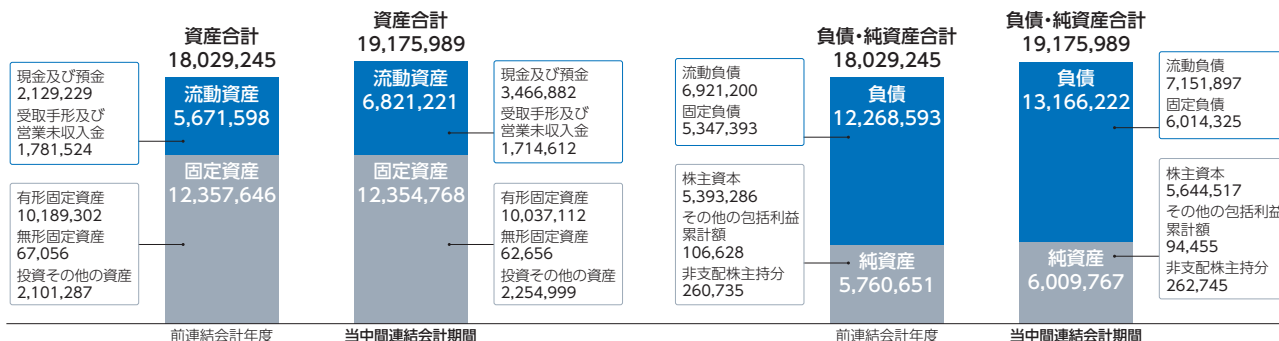
その他の事業につきましては、不動産事業において販売物件及び仲介手数料が減少したことなどにより、営業収益は98百万円(対前年同中間期比59.6%)となりました。営業損益は、減収の影響と採石事業において在庫製品の簿価切り下げ及び損益分岐点に到達するまでの販売数量を確保できなかったことなどにより、62百万円の損失(前年同中間期は2百万円の利益)となりました。

財務諸表

Financial Statement

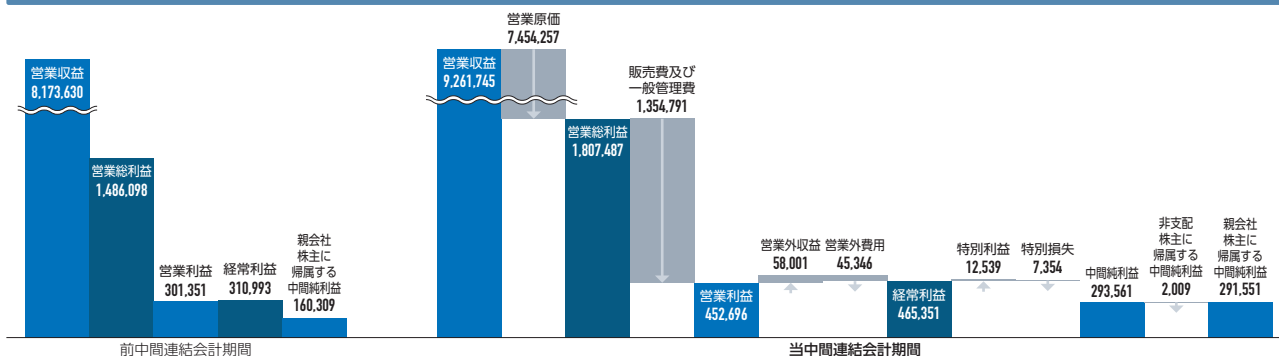
中間連結貸借対照表

(単位:千円)



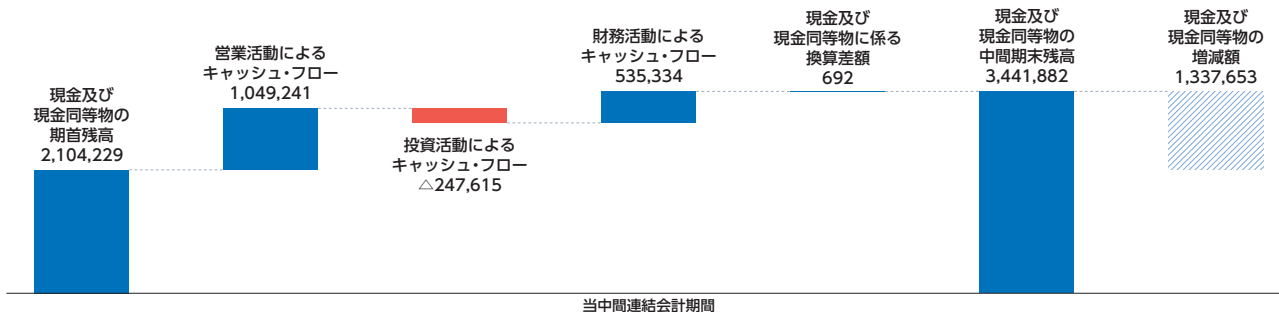
中間連結損益計算書

(単位:千円)



中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)



会社情報/株式情報

Corporate Profile/Stock Information

会社概要

(2024年9月30日現在)

商号	センコン物流株式会社 SENKON LOGISTICS CO.,LTD.
設立	1959年10月1日
従業員数	275名(連結454名)
主な拠点数	国内22拠点
資本金	1,262,736,500円
主な事業内容	一般貨物自動車運送事業、貨物軽自動車運送事業、貨物運送取扱事業、倉庫業、通関業

役員

(2024年9月30日現在)

【取締役(監査等委員である取締役を除く。)]

【監査等委員である取締役】

代表取締役会長兼CEO 久保田 晴 夫	取 締 役 小 柏 薫
※代表取締役社長 久保田 賢 二	取 締 役 佐 藤 裕 一
専務取締役 柴 崎 敏 明	取 締 役 川 田 増 三
取 締 役 久保田 秀 揮	
※取 締 役 吉 川 淳 也	
※取 締 役 花 澤 聡 一 郎	
取 締 役 團 雅 義	

(注) 1. ※印は執行役員を兼務しております。
2. 監査等委員である取締役小柏 薫、佐藤裕一及び川田増三の各氏は、社外取締役であります。

【執行役員】

社長執行役員 久保田 賢 二	執行役員 花 澤 聡 一 郎
専務執行役員 吉 川 淳 也	執行役員 佐 藤 義 則
常務執行役員 見 崎 以 知 郎	執行役員 齋 藤 充 彦
常務執行役員 成 田 浩 憲	執行役員 相 原 香 織

株式の状況

(2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	21,712,000株
発行済株式の総数	5,651,000株
株主数	1,784名

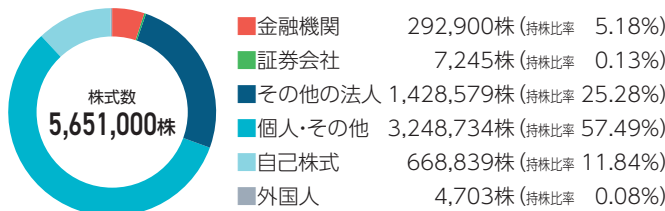
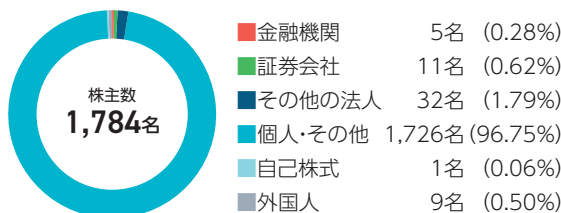
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
久保田純子	562,024	11.28
ロジスティード(株)	500,000	10.04
花澤隆太	465,677	9.35
(株)富士ロジテックホールディングス	452,000	9.07
(株)プロフィットイノベーション	275,700	5.53
久保田晴夫	169,500	3.40
久保田賢二	169,400	3.40
(株)七十七銀行	148,000	2.97
(有)ハナザワ・コーサン	79,779	1.60
日本生命保険相互会社	62,000	1.24

(注) 持株比率は自己株式(668,839株)を控除しております。

株式分布状況

(2024年9月30日現在)



株主優待のご案内

株主の皆様へ 日頃の感謝の意を込めて

当社は、株主の皆様へ日頃の感謝の意を込めて、株主名簿に記録された株主様に対し半期毎にお米、東北の特産品などを進呈しております。



※写真はイメージです。

● 所有株式数500株以上 ▶ お米5kgまたは東北の特産品

● 所有株式数5,000株以上 ▶ お米10kg及び東北または北海道の特産品 (計10,000円相当)

● 所有株式数1,000株以上 ▶ お米10kgまたは東北の特産品

● 所有株式数10,000株以上 ▶ お米10kg及び東北または北海道の特産品 (計15,000円相当)

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催

基準日
定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日 (中間配当をする場合)
その他必要があるときはあらかじめ公告して基準日を定めます。

【株主に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にご連絡ください。なお、お手続き方法やよくある質問は、右記「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、下記の電話照会先をお願いいたします。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法 電子公告
<https://www.senkon.co.jp/ir/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

(郵便物送付先) (電話照会先)
〒168-0063 ☎0120-782-031
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 受付時間 9:00~17:00
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (土日休日を除く)
(インターネットホームページURL)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
(よくあるご質問 (FAQ))
https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal